

平成 22 年度入学者選抜学力検査問題

国 語

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時25分から10時15分までの50分間です。
- 3 大きな問題は全部で5問で、表紙を除いて7ページです。
また、別に解答用紙が、(1)、(2)の2枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙
(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。
また、特に指示のあるもののほかは、各問いのア、イ、ウ、エのうちから
最も適当なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄の()の中に書
き入れなさい。
- 6 答えの字数が指示されている問いについては、句読点や「 」などの符号
も字数に数えるものとします。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号	番
---------	---

次の1から7までの問いに答えなさい。

1 次の——線の部分の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 視線を交^わわす。 (2) 町の発展に^力を尽^する。
 (3) 緩^ややかな上り坂だ。 (4) 研究を委^嘱する。
 (5) 水草が繁^茂する。

2 次の——線の部分を漢字で書きなさい。

- (1) 荷物をア^ズける。 (2) 道路ヒヨウシキを設置する。
 (3) 目上の人をウ^{ヤマ}う。 (4) 駅前広場をカク^チョウウする。
 (5) 飛行機をソウ^ジュウする。

3 「学校祭の準備で、今週はとても忙しい。」の——線の部分と、文法的に同じ意味・用法のものはどれか。

- ア 生徒が帰った後の教室はとても静かで、物音一つしない。
 イ ここ二、三日の暖かさで、桜のつぼみがふくらんできた。
 ウ 僕の弟は小学生で、野球チームのキャプテンをしている。
 エ 朝食後に新聞を読んで、散歩に出かけるのが父の日課だ。

4 「彼は、孫のしづさに目を細めた。」の——線の部分の意味として適切なものはどれか。

- ア 満足し何度もうなずいた。 イ うれしそうにほほえんだ。
 ウ 心配そうに暗い顔をした。 エ 喜びがこみ上げ涙ぐんだ。

5 次の——線の「いらつしやる」のうち、文中で表している意味が他の三つと異なるものはどれか。

- ア 私のピアノの演奏を、学校の先生が聴きにいらつしやる。
 イ 留学中にお世話になった方が、私に会いにいらつしやる。
 ウ 明日、本校に県外から有名な作家が講演にいらつしやる。
 エ 奉仕作業で、地域の方々が正午まで学校にいらつしやる。

6 「返答」と熟語の構成が同じものはどれか。

- ア 県営 イ 最後 ウ 待機 エ 永久

7 次の和歌の、意味上の切れ目は何句目の後か。漢数字で答えなさい。

わたの原八十島かけて漕ぎいでぬと人には告げよ海人の釣舟
 (注) わたの原 大海原
 (古今和歌集) 小野篁

次の文章を読んで、1から5までの問いに答えなさい。

(1)ある
或人の、物事にふかく念を入れ、^(注1)得失の吟味ぎんみつよかりしが、
市中の住居すまひなれば、^(注2)蔵造るに、^(注3)蔵の口は多く家の内の方にあくる
に、^(注4)此人、⁽²⁾地の費つひえをいとはず、家と蔵との間、道をあけて造りし
に、家をはなれたる蔵いかめしく、火の届くべきとも見えざりし
が、間ぢかき家より火出いでて焼やくるに、^(注4)蔵の戸したためんとするに、家
と蔵との間へ炎風えんぷうきびしく吹かけければ、戸の口塗る事なま叶ははで逃出にげいで
たれば、家蔵のこらず焼け失せぬ。「蔵の口を並々なみなみの町屋ちやうやの如く家
の内にせしならば、戸さす程の間は有りぬべきを。」と、後に人のい
ひけり。 火の出いでやう、風のおもむきによりて、家の内に
蔵の口あらんよりははなれたるはよからめ。^(注5)此火このにては念の入りた
るが害なひに成たり。是非ぜひいかんとも定さだめがたし。ほろぶる時にこそあり
けめ。これらは人の心をつくべき事也。^(注5) (「労四狂」から)

(注1) 得失の吟味ぎんみ||利害について注意深く検討すること

(注2) 蔵||大事なものを保管しておく建物

(注3) 蔵の口は多く家の内の方にあくるに|| (住居とは別に外蔵を建
てるのではなく)蔵の入り口が住居の中にある内蔵にすること
が多いのに

(注4) 蔵の戸したためん|| (火から蔵を守るために)蔵の扉を壁土で塗
り固めよう

(注5) よからめ||よいだろう

1 叶かなはで は現代ではどう読むか。現代かなづかいを用いて、す
べてひらがなで書きなさい。

2 に入る語として適切なものはどれか。

ア よつて イ しからば ウ かつ エ されども

3 (1)ある
或人の、物事にふかく念を入れ とあるが、或人が蔵を造ると
きに念を入れたのは、どのようなことか。三十五字以内の現代語
で具体的に書きなさい。

4 (2) ⁽¹⁾ある
地の費つひえをいとはず とは、どういう意味か。

ア 土地を買う方法を慎重に検討することもせず

イ 土地を余計に使ってしまうのを嫌がりもせず

ウ 土地を整備して道にする労力を惜しみもせず

エ 土地を荒廃させてしまう危険性を顧みもせず

5 本文からうかがえる筆者の考えとして、最も適切なものはどれ
か。

ア 用心して対策をとつたために大きな損害を被ることもあるの
で、先のことを予想するのは難しいと心得ておくべきである。

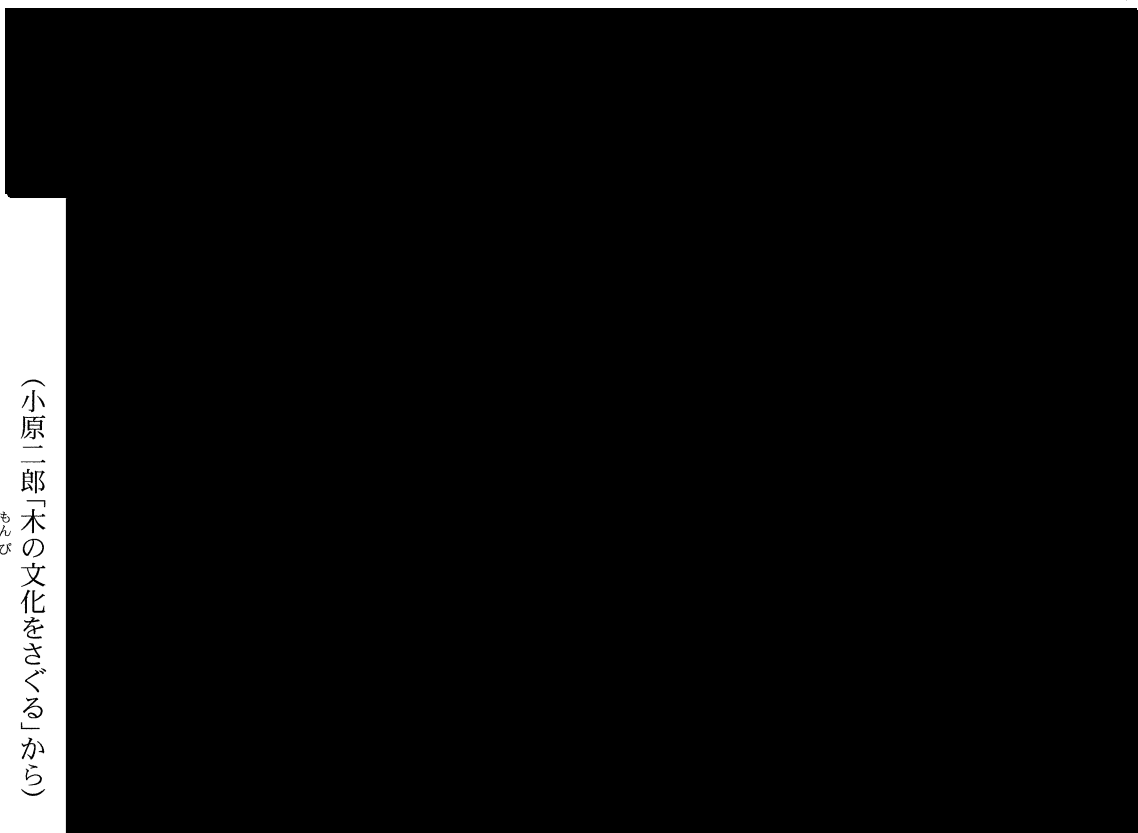
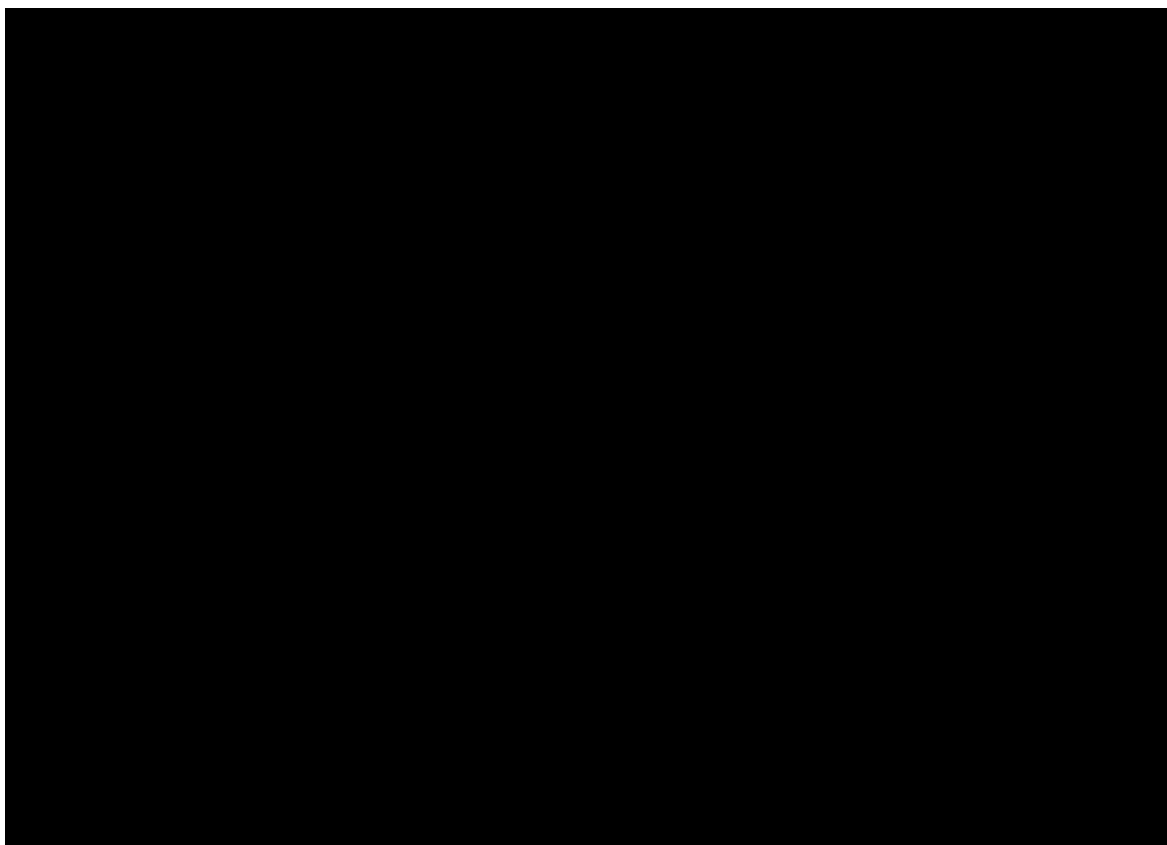
イ 世間で通常行われていることは道理にかなったことが多いの
で、一般的なやり方に従う方がよいと心得ておくべきである。

ウ 様々な工夫を凝らしても結局は損をすることが多いので、無
駄なことはなるべくくしない方がよいと心得ておくべきである。

エ 物事は状況によつて様々に変わるので、それらを考慮したう
えで対処法を決めなければならぬと心得ておくべきである。

3

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。



(小原二郎「木の文化をさぐる」から)

(注1) エクステリア⇨建物の壁面や塀、門扉もんび、垣、植木などのこと。
(注2) テクスチャテクスチャ⇨素材・材質。

1 ⁽¹⁾ その一例 の説明として最も適切なものはどれか。

ア 住まいが時代と共に変化を遂げてきたことに伴って、常に姿を変え続けてきたマナーや習慣の一例。

イ 住まいの狭さという問題に対して、長い歴史の中で日本人が工夫を重ねて身につけた使い方の一例。

ウ 住まいが持つ問題点の中でも、特に面積の点で多くの日本人が不満を感じているということの一例。

エ 住まいの広さの点で不満を感じていることと、住まいの使い方に深い関係があるということの一例。

2 ⁽²⁾ これは賢明な選択であった とあるが、筆者がそう考えるのはなぜか。四十字以内で書きなさい。

3 ⁽³⁾ 植物も動物も人間も、もとは同じ根から出た自然の中の仮の姿で、この世を「終のすみか」とする人生観 とあるが、ここに見られる考え方として最も適切なものはどれか。

ア この世に生きている間の姿は違っても、寿命を迎えた後には自然へ戻る宿命を持つという点は変わらないという考え方。

イ この世に生きている間の姿は違っても、はるか昔の生命誕生の起源まで遡って見たときの姿は変わらないという考え方。

ウ この世に生きている間の姿は違っても、大きな自然を形作っている一部分であるという本質は変わらないという考え方。

エ この世に生きている間の姿は違っても、自然から独立してそれぞれの役割を担っていく性質は変わらないという考え方。

4 に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。

ア 画然と イ 泰然と ウ 騒然と エ 漫然と

5 ⁽⁴⁾ 「石の文化」「金の文化」を生み、支えているものが示されている一文を本文中からさがし、最初の十字を抜き出さない。

6 本文の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。

ア 日本人が持つ豊に布団の生活様式を例に挙げ、世界各国の生活様式と比べながら文化が生まれる過程を説明している。

イ 日本人が持つ習慣の一例から話を進め、異文化の基盤となる考え方と対比させつつ日本の文化の特徴を指摘している。

ウ 日本人が持つ木の文化が安らぎを生むことに注目し、生物材料を用いた持続可能な社会の実現について考察している。

エ 日本人が持つ住居への不満を問題視して、その根本的な解決策を自然の中に求めるといふ新しい見解を提案している。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。

清(僕)の父親(オトン)は愛媛県大三島^{おおみしま}でバスの運転手をしている。清が小学六年生の夏、父親は長年運転してきたバスが新型に変わるのを機に仕事を辞め、島を離れて実家の家業を継ぐことを決意した。父親は運転手としての最後の仕事を終えると、清をバスに乗せ、ドライブに出かけた。その途中、父親は清の同級生の岩城^{いわき}を見かけ、バスに乗せた。

(森沢明夫「海を抱いたビー玉」よみがえったボンネットバスと少年たちの物語)から)

1 A、B に当てはまる語句の組み合わせとして

適切なものはどれか。

- ア A かけられた B 開いて
- イ A あけられた B 上げて
- ウ A さされた B ひそめて
- エ A 打たれた B 曇らせて

2 (1) 僕とこの島との六年間の距離 が表しているものとして最も適

切なものはどれか。

- ア 大三島での出来事を、冷静に捉えようと努めてきたということ。
- イ 慎重な態度で、大三島の人々と接しようとしてきたということ。
- ウ 大三島に感じていた親しみが、次第に薄れていったということ。
- エ 人々との関係も含め、大三島になじみきれなかったということ。

3 (2) 前を向いて脚を組んで——とあるが、このときの岩城の心情を説明したものと最も適切なものはどれか。

- ア 気落ちしている清を元気づけるために、できもしないことを口に出してでも励まそうとする気持ちと、恥ずかしさ。
- イ 清と一緒に過ごせる限られた期間、同じ境遇にある仲間として親しく関わっていいこうという気持ちと、きまり悪さ。
- ウ これまでの関係を清算し、清が引越してから二人の関係を修復していいこうという改まった気持ちと、ばつの悪さ。
- エ 清を仲間として認めて野球を教えることで、バスに同乗させてもらった感謝を示そうとする気持ちと、照れくささ。

4 清と岩城の関係の変化が、清の行為を通して描かれている一文を二十五字以内で本文中からさがし、最初の五字を抜き出さない。

5 (3) 「よしっ。」と短く息を吐いて とあるが、なぜ「オトン」はそうしたのか。二十五字以内で書きなさい。

6 本文の表現上の特徴を説明したものと、最も適切なものはどれか。

- ア 二人の少年の心が通い合っていく様子を、両者の視線の描写を用いて効果的に表現している。
- イ 登場人物の関係がにわかに緊迫する様子を、情景描写を挿入しながら象徴的に表現している。
- ウ 登場人物の心の葛藤が生じる様子を、対照的な心理描写を織り込んで重層的に表現している。
- エ 二人の少年が成長する様子を、日々繰り返される出来事の描写により客観的に表現している。

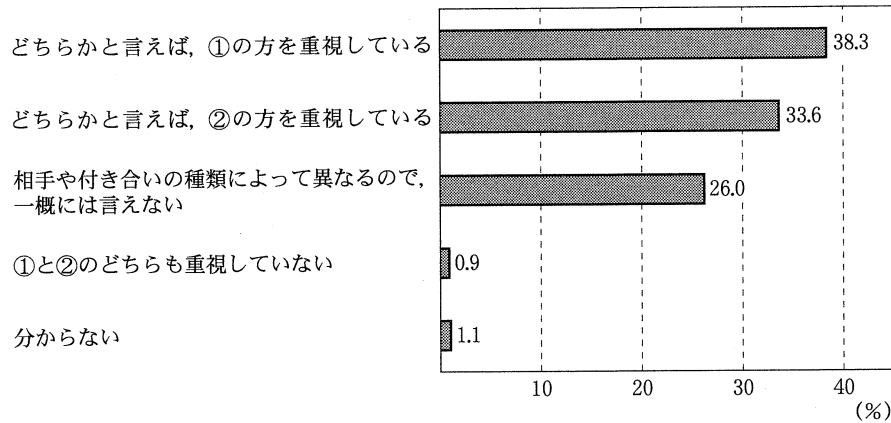
次のグラフは、文化庁が行った「平成二十年度 国語に関する世論調査」の結果の一部である。このグラフを参考にして、「言葉と思い」というテーマで、あなたの考えを書きなさい。

なお、自分の考えとその理由を明確にすること。また、国語解答用紙(2)に、二百四十字以上三百字以内で書くこと。

調査項目

あなたは人と付き合うときに、どちらかと言えば、ここに挙げた①と②のどちらの方を重視していますか。

- ① 互いの考えていることをできるだけ言葉に表して伝え合うこと
 ② 考えていることを全部は言わなくても、互いに察し合って心を通わせること



※ 調査対象は全国16歳以上の男女である。

(文化庁「平成20年度 国語に関する世論調査」より作成)